

昭和49年度

1974

第18回世界一周遠洋航海



護衛艦 あおくも

第18回 遠洋練習航海記念アルバムの発刊によせて

あおくも艦長 1等海佐 橋 本 孔 成

昭和49年度海上自衛隊遠洋練習航海は、昭和32年度を初回として18回目、世界一周のそれは昭和45年度につき2回目である。

総日程 155日、総航程 35106浬という海上自衛隊史上最多日程、最長航程の記録を残し、無事その大任を果たして終了した。またディーゼル艦での世界一周は、海上自衛隊において「あおくも」が嚆矢となったこともわれわれには忘れられないところである。

第2次世界大戦後の目覚ましい航空機の発達は、「世界は狭くなった」と言われるようになったが、今次遠航に参加して「世界は矢張り広い」と感じたことは全く偽らざる心境であり、独り私だけではなかったらと思う。何日も何日も海また海を走って、わが視界内にある船は僚艦「かとり」のみという海もあったことを経験してみると、実感としてその広大さに驚いた。 実に「七つの海」のうち南北両氷洋を除く「五つの海」を走破したのである。しかもわれわれは、商船等の一介のパッセンジャーとしてではなく、自分達の艦を自らの力で運航し、更には挙艦一致 遠航の三大目的（1. 訓練、実習の指導、協力 2. 国際的視野の拡充 3. 国際親善への寄与）達成の任務を完遂して帰ったのである。

全期間を通じて比較的天候に恵まれたとはいえ、北緯50度から南緯35度にわたる行動が受ける大きな気温変化、造水能力から強いられる真水制限、長期行動による艦内各部の故障等の対処、等等世界一周の航路は決して生易しいものではなかった。特に今年度は、練習艦隊が未だ曾て経験したことのない厳しい状況下におかれた。その1は石油危機下での行動であったこと、その2は7月15日に生じたキプロス紛争の両当事国訪問が予定どおり実施されたこと、その3は、地中海沿岸訪問諸国の訪問半ばにしてアラブゲリラ及び日本赤軍派のヨーロッパ潜入が伝えられたことである。そのために、燃料節約と遠航目的とのふん合に腐心し、エーゲ海での警戒航行、訪問地における警備措置、上陸中の乗員の保全対策等、最後まで、気の緩められない状況であった。

今回の訪問12ヶ国のうち、海上自衛隊として初めての訪問国が4ヶ国（ギリシャ、スペイン、コンゴ、モリシャス）あり、なかでもコンゴ人民共和国は唯一の共産圏に属する国であったことも異色であった。また地中海及び印度洋において、米、英、ソ三大海洋勢力が、力の顕示に多大の努力を払っていることを目のあたりに見る機会を得、海上防衛の重要性を再認識したことも収穫の一つであったと思う。

洋上慰霊祭は5回実施された。地中海マルタ島北方海域でのものを除き、すべて太平洋戦争において散華された海のつわものどもの英霊に対するそれであった。内地出港時託された花輪、供物等も投入され、夕闇迫る洋上にいとしめやかに執行され、国の為に命を捧げられた方々のご冥福を心からお祈りした。感激のあまりものした駄作一首。御笑覧に供す。

三千年を 伯りにし海に 花輪投ぐ 艦安かれと 艦あしおとして

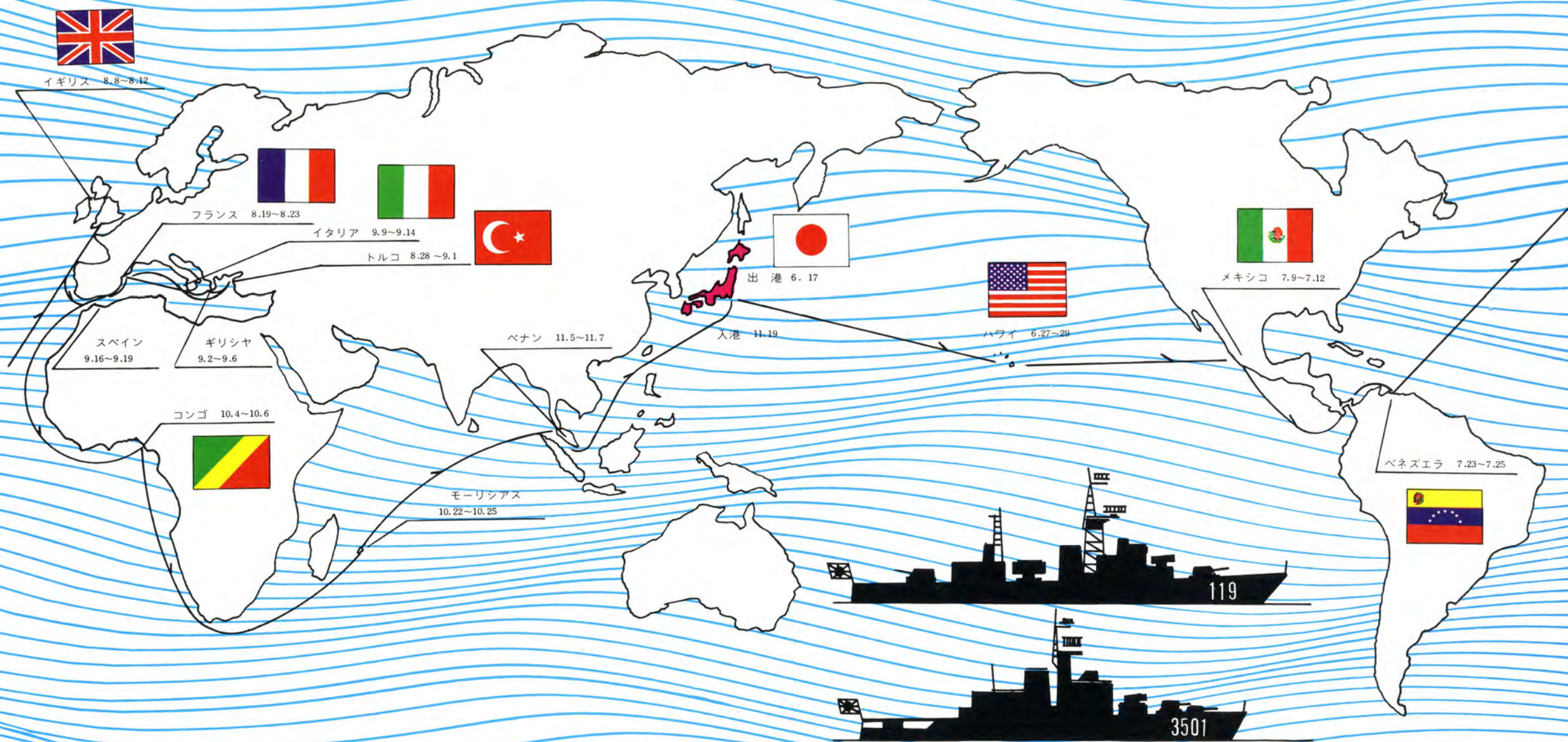
訪問各国での諸行事はすべて順調に経過し、国際友好親善に寄与するとともに、上陸中の対外的な事故は皆無で、乗員の規律ある行動及び訪問国の伝統と慣習に理解をもって誠意と礼節ある態度に終始したことは、わが海上自衛隊の評価を高めた。これは乗員諸官の、おう盛な士気と任務遂行に対する強い責任感及び強固な団結心によるものであり、また日本国及び海上自衛隊の代表としての自覚のもと高い規律の維持に努めた賜と、衷心から敬意を表する次第である。長かった遠洋航海も成功裏に終わってみると、その間の苦勞、腐心、焦慮、心配等すべて懐しい思い出であり、得がたい体験である練習艦隊の進んだコースを追って、主な思い出等をまとめてみようと考え筆を運んだが、中止することにした。それらはすべてこのアルバムが語って呉れ、想起させて呉れるからである。また思い出は個人の脳裏にあり、私の書く思い出のダイジェストは私なりにとらえたものであって普遍性に乏しいうらみなのをこのすのみならず、個人のそれを壊す場合も起こりうることを恐れたからである。本アルバムは編集委員の着想によって航海日誌の抜すい及び乗員名簿まで編綴されている。誠にグッドアイデアだと思う。

ここに世界一周遠洋練習航海の記念アルバムを発刊するにあたり、所懐の一端を述べる光榮を歎びとすると共に、乗員諸官の労苦を多とし深甚の謝意を表するものである。

最後に、本アルバムの編集を担当して貰った委員諸官の労を心からねぎらう次第である。



世界一周遠洋航海



遠洋練習航海日誌

5月30日	1510	佐世保出港	7月23日		登舷礼式	9月28日		小火器射撃
31日	1800	かとりと合同		0849	ラグアイラ入港	30日		赤道通過(12時37分6秒 緯度経度0度)
6月1日	0917	鳥羽入港			市内研修			赤道祭及び演芸大会
		伊勢神宮参拝			寄港地諸行事	10月1日		戦闘訓練 非常配食
2日	1803	鳥羽出港	24日		満艦飾、電灯艦飾(ベエネズエラ海軍記念日)	2日		訓練射撃
3日	0540	大島入港	25日	0859	ラグアイラ出港	3日	1323	ポアントノアール港外仮泊
		トルコ軍艦エルトグルル号遭難弔魂碑参拝	30日	0841	練習艦隊司令官旗移揚	4日	0752	仮泊地発
	1803	大島出港		1817	〃 復帰			登舷礼式
4日	1316	横須賀入港(F10バース)	8月1日		戦闘訓練非常配食		0903	ポアントノアール入港
		遠航物品とう載	7日	1358	ポーツマス港外仮泊			市内研修
		諸訓練	8日	0837	仮泊地発			寄港地諸行事
		諸行事			登舷礼式			ポアントノアール出港
15日		練習艦隊司令官訓示		0947	ポーツマス入港	6日	0857	運動会
17日	1000	出港式			ロンドン方面研修	20日		ポートルイス港外仮泊
		防衛庁長官訓示			寄港地諸行事	21日	1401	仮泊地発
	1100	横須賀出港	12日	0900	ポーツマス出港	22日	0742	登舷礼式
21日	0803	練習艦隊司令官旗移揚	16日		ひき船、ひかれ船		0851	ポートルイス入港
	1809	〃 復帰	18日	1250	ツーロン港外仮泊			島内研修
23日		洋上慰霊祭	19日	0625	仮泊地発			寄港地諸行事
		日付変更線通過			登舷礼式	25日	0850	ポートルイス出港
26日		戦闘訓練 非常配食		0904	ツーロン入港	30日	0822	練習艦隊司令官旗移揚
27日		登舷礼式			バリー及びアビニオン方面研修		1740	〃 復帰
	0846	パールハーバー入港			寄港地諸行事	31日		赤道通過(3時22分 東経76度28分)
		島内研修	23日	0900	ツーロン出港			艦内輪投げ大会
		寄港地諸行事	28日	1104	登舷礼式	11月4日	1340	ベナン港外仮泊
29日	1000	パールハーバー出港			イスタンブール入港	5日	0650	仮泊地発
30日	0800	昇任伝達式			市内見学			登舷礼式
7月1日		酷暑日課開始			寄港地諸行事		0837	ベナン入港
5日		訓練発射	30日		満艦飾、電灯艦飾(トルコ共和国三軍記念日)			寄港地諸行事
6日		〃	9月1日	0856	イスタンブール出港	7日	0857	ベナン出港
7日		演芸大会	2日	1435	ピレエフス港外仮泊			洋上慰霊祭
9日	1238	マンサニョ入港		0746	仮泊地発	8日		遭難船(ヨット)救助
		市内見学			登舷礼式	12日		洋上慰霊祭
		寄港地諸行事		0902	ピレエフス入港	15日		〃
12日	0901	マンサニョ出港			アテネ市内研修	18日	0903	横須賀港外仮泊
18日	0733	バルボア仮泊			寄港地諸行事			入関手続き
	1708	仮泊地発	6日	0859	ピレエフス出港	19日	0815	仮泊地発
	1723	パナマ運河に入る	7日		洋上慰霊祭		0901	横須賀入港(F10バース)
	1810	アメリカンブリッジの下を通過	8日	1409	ナポリ港外仮泊	22日		実習幹部退艦
	1914	ミラフロレスロックに入る			仮泊地発		1500	横須賀出港
	1959	〃 を出る			登舷礼式	24日	1053	佐世保入港
	2023	ゲイラートカットに入る	9日	0906	ナポリ入港			
	2048	〃 を出る			ローマ研修			
	2319	ガッソ湖に入る			寄港地諸行事			
19日	0018	〃 を出る	14日	0856	ナポリ出港			
	0048	パナマ運河通航	16日	0629	バルセロナ港外仮泊			
	0105	大西洋に入る		0747	仮泊地発			
21日	0946	プンタカルドン入港			登舷礼式			
		燃料とう載		0843	バルセロナ入港			
	1546	出港(転錨)			市内研修			
	1716	投錨			寄港地諸行事			
22日	0647	プンタカルドン出港	19日	0853	バルセロナ出港			
23日	0610	ラグアイラ港外仮泊	22日		訓練発射			
	0737	仮泊地発	23日		艦内バザー			

佐世保出港



出港ラッパ



妻子 彼女に別れをおしみつつ



49. 5. 30

花子さん さようなら



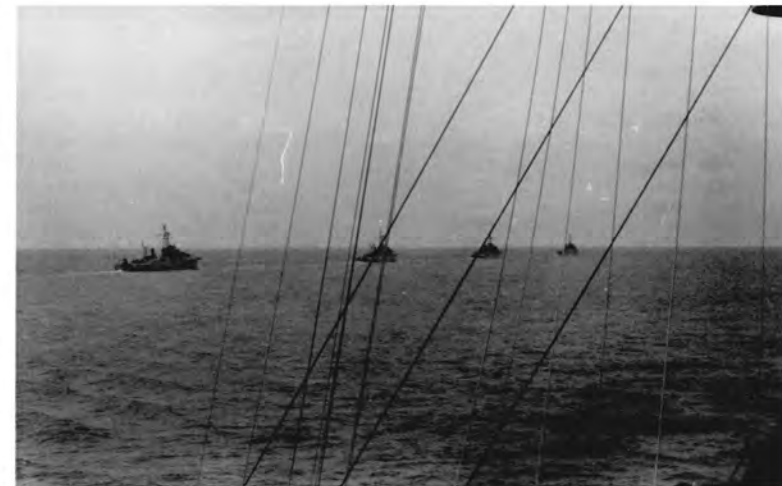
海華長訓示



母港 佐世保を後に

横須賀出港





帽 振 れ

護衛艦隊の見送り

ミッドウェー沖 洋上慰霊祭



花 輪 投 入



英霊に対して敬礼



ハワイ



パールハーバー入港



あと10cmで……



ワイキキの浜辺



アリゾナ記念館



ダイヤモンドヘッド



米海軍の入港歓迎



ローズボール献花



最優秀？ 新人賞



あおくも座頭市



座頭市 思い出の名シーン



3 分 隊

第一回演芸大会



2分隊 ドッキリカメラ



実習幹部



楽しさが一杯



マンザニヨ入港



何買うかな？



メキシコのかわいこちゃん その1

メキシコ

49. 7. 9 入港

49. 7. 12 出港



いいいのひととき



メキシコのかわいこちゃん その2



いくらかな!!



一般公開受付
野郎は来なくていいのになァー



メキシコの小野田少尉



こら!! どこにさわっているんだ

一般公開

メキシコ

スペイン

49. 9. 16 入港
49. 9. 19 出港



スペイン美人



誰だ 下からのぞく奴は?



実習幹部の名ガイドぶり

パナマ運河通峽

ラグアイラ 7. 23 入港
(ベネズエラ) 7. 25 出港

アメリカンブリッジを眼前にして

パナマ通峽 7. 18 1723

通過 7. 19 0048



南米美人と



彼女にどうか？



カラカス市内





ポーツマス港 入港

イギリス その1

49. 8. 8 入港

49. 8. 12 出港



ロンドン研修



ビクトリア号



さすがは J. NAVY さて結果は



実習幹部諸君のアタックぶり

イギリス

その2



ロンドン名物 2階バスとビックベン



おお あれが トラファルガー広場か



イギリス屋にて



あおくも写真展 金賞受賞作品かな



セントポール寺院

フランス

49. 8. 19 入港

49. 8. 23 出港

その1



おい ビキニがいるぞ



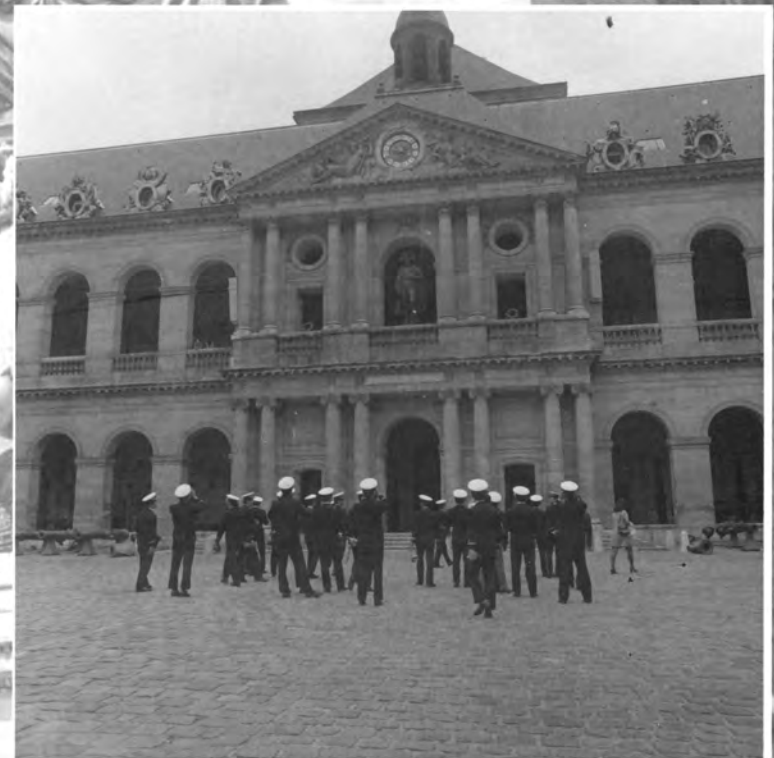
いよいよ凱旋門です



＊無事横付け終了、良かったね



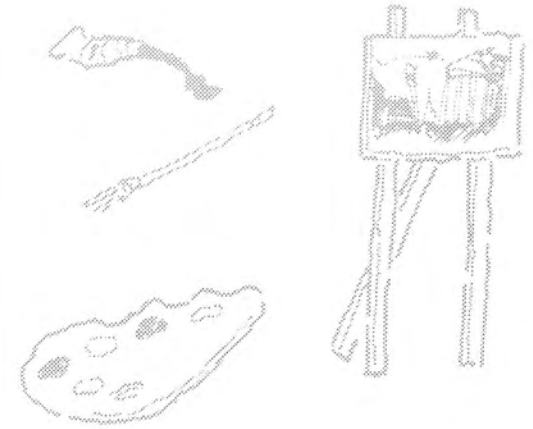
ツ、ロマンと今夜も……



フランス その2



日本人ガイドさん



ナポレオン墓地



エッフェル塔



ノートルダム寺院にて



ワンバック シーガレット OK?

トルコ

49. 8. 28 入港

49. 9. 1 出港



イスタンブール



良かったね



!!これなんぼ!! 3\$にならんかな



あおくものイルミネーション



トルコ軍の行進



アテネ市内



ギリシャ アクロポリス



バルテノン



美代ちゃん こっちむいて



ギリシヤ



あれが あれですよ!!



ボンベイ



武道生中継



コロッセウム

フランス



エッフェルタワー

スペイン



スペイン



フラメンコ

イギリス



イタリア・スペイン



カプリ島をバックに



バチカン市国



ローマテレビの泉 願いはいかに？



ザ・コロンブス



サンタマリア号



ピカソの絵





どう このポーズ？



どう この出来具合？



我社のコックさん

洋上 訓練



腹がへっては戦はできぬ



我等エンジニア



燃料噴射ポンプ加熱



かとり 水上射撃



こちら JSSB 只今チャージ中



天測訓練



A. B. C. 早く上げろ!!



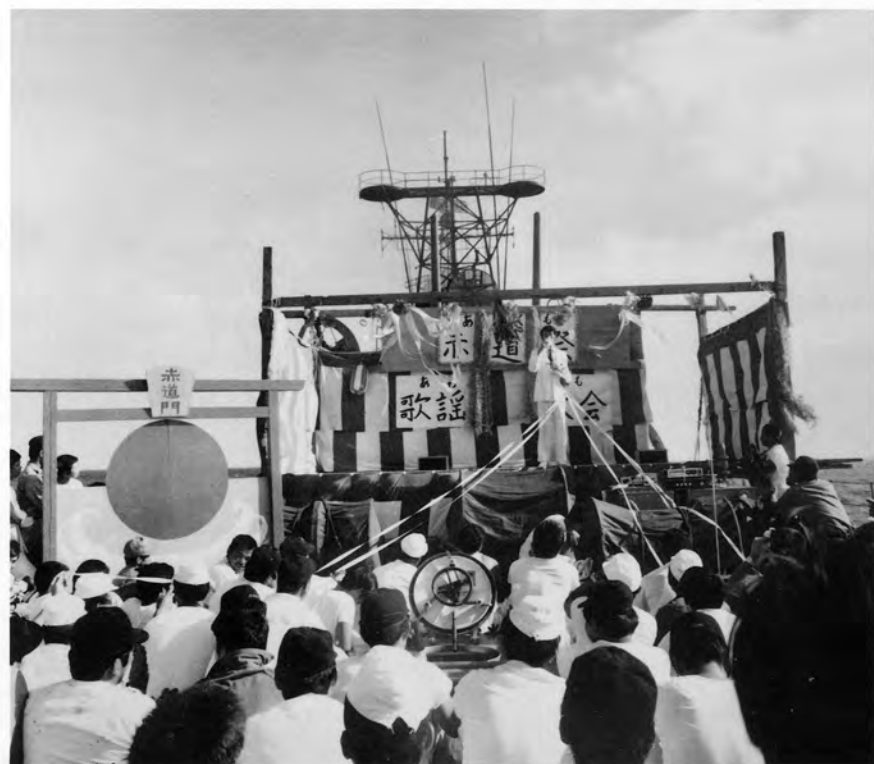
南半球に入らせていただきまーす



門を通過しても陸上にはいけず



赤鬼 青鬼 バンザイ



歌手は誰れ
いい線いってるね

赤道祭



カブリつきは いかがですか？



コンゴ



49. 10. 4 入港
49. 10. 6 出港



我等 クロンボ



日本へ便りするのー苦勞です



ヘイ・ユー・ハウマッチ



ケープタウン ライオン岬



艦上体育



二分隊のボープ頑張り



輪投げ



つなが切れるよ!!

運動会

10月20日



なか／＼両者強いな



モーリシアス

49. 10. 22 入港

49. 10. 25 出港



イルカはいるか(艦内マイク)



市中パレード



きまり一本!!



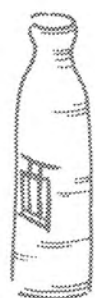
ナポリにて 武道展示



フランスにて 武道展示



飲 酒 許 可



酒は百薬の 長かな トラの元かな



艦底異常なし



ちょっと 一杯だけよ



酒豪の面々



ペナンの短大生



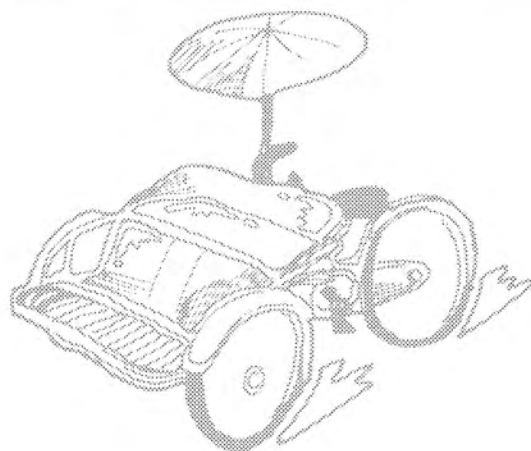
この人
どこの人



リンタク

良

く



も て た ね



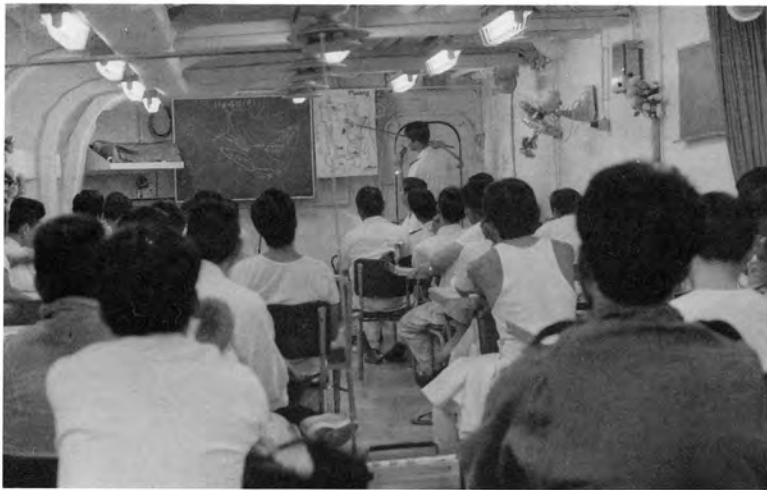
ハイ マスター マスター



この店員
東京にいた人かな



おお こわ!!



寄港地講話



レセプション



音楽の夕べ



本艦儀仗隊



いやな「ひげ」ばかりではなかった



乾杯

天 荒



ちぎれた艦旗



怒涛を越えて



世界一周 最後の試練です



P2Jの出迎え



ああ やっと 日本に帰えられるか

帰 投



母国入港前 新聞投下してくれた
うれしかったね



ロンドンブリッジ



赤道神, 役員, 御苦労様でした



すばしかったベナンの夕日

スナ ッ プ



トルコ入港前



このかまえでは はずれだもんね



士 官 室



艦 長 橋 本 孔 成



副 長 唐 崎 敏 雄

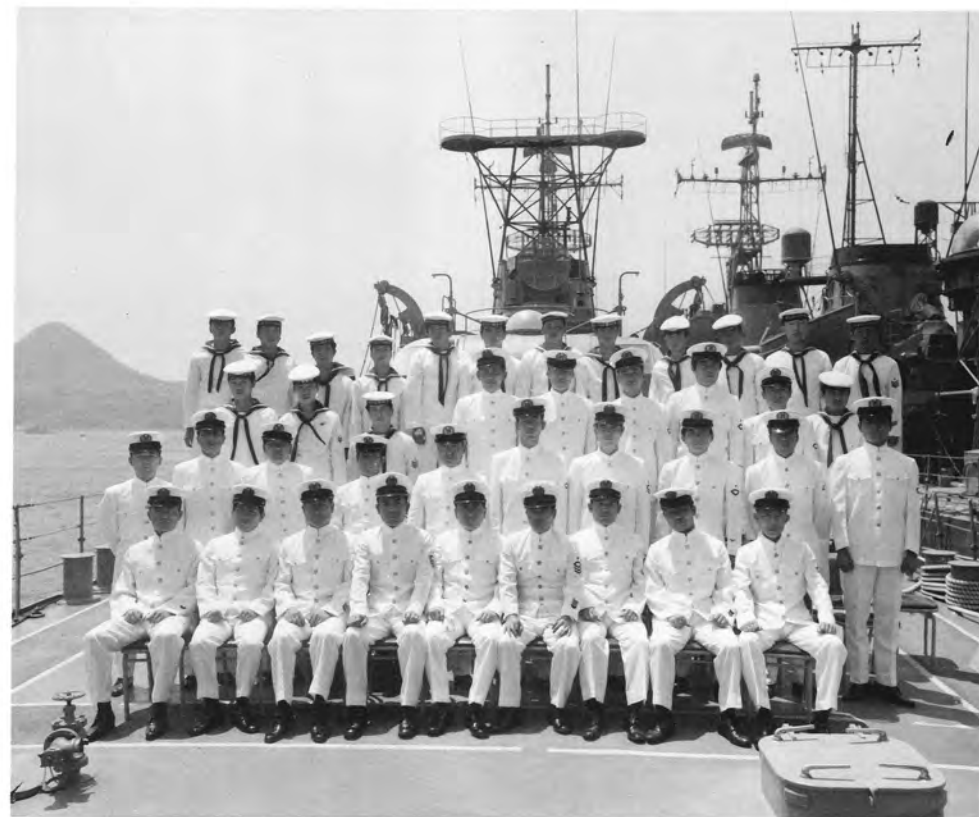


C. P. O. 室





1 分 隊



2 分 隊



3 分 隊



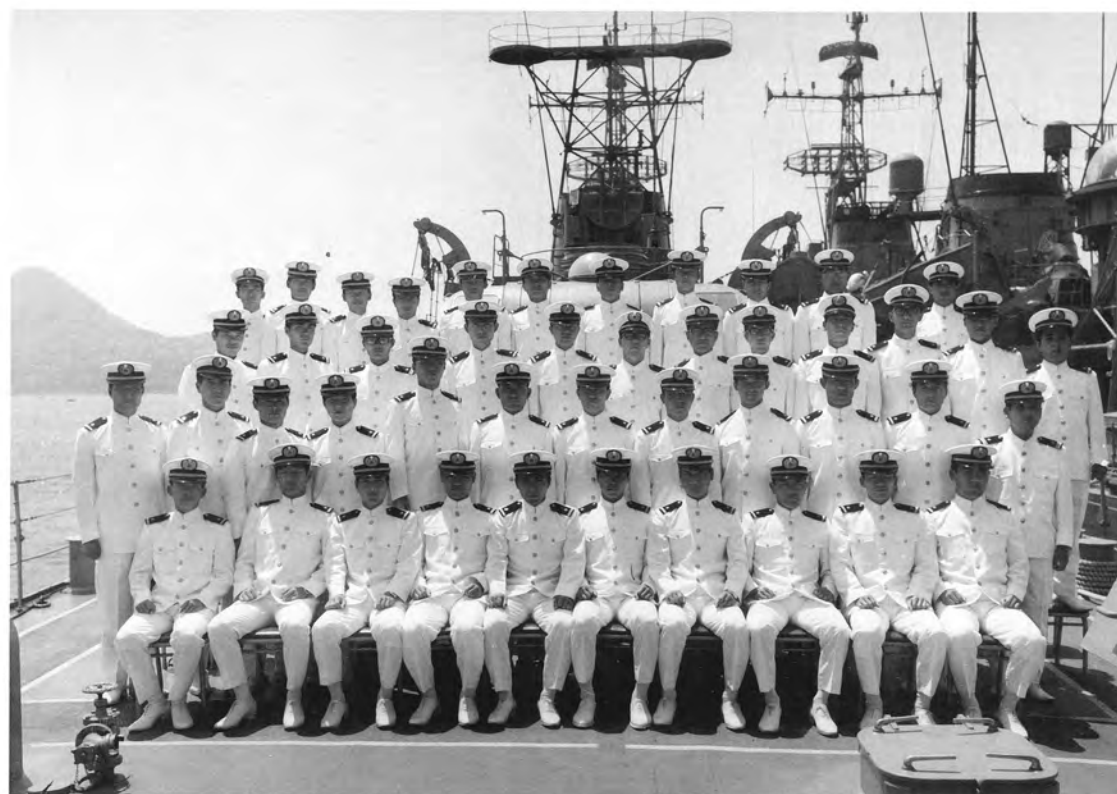
4 分 隊



武道部員



儀仗隊



実習幹部



実習幹部